

日米投信概況

日米でゴールドファンドに流入(米国ではビットコインのファンドに流入)、REITが日本では利上げ懸念で流出、米国では利下げ期待で流入

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部 松尾健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)

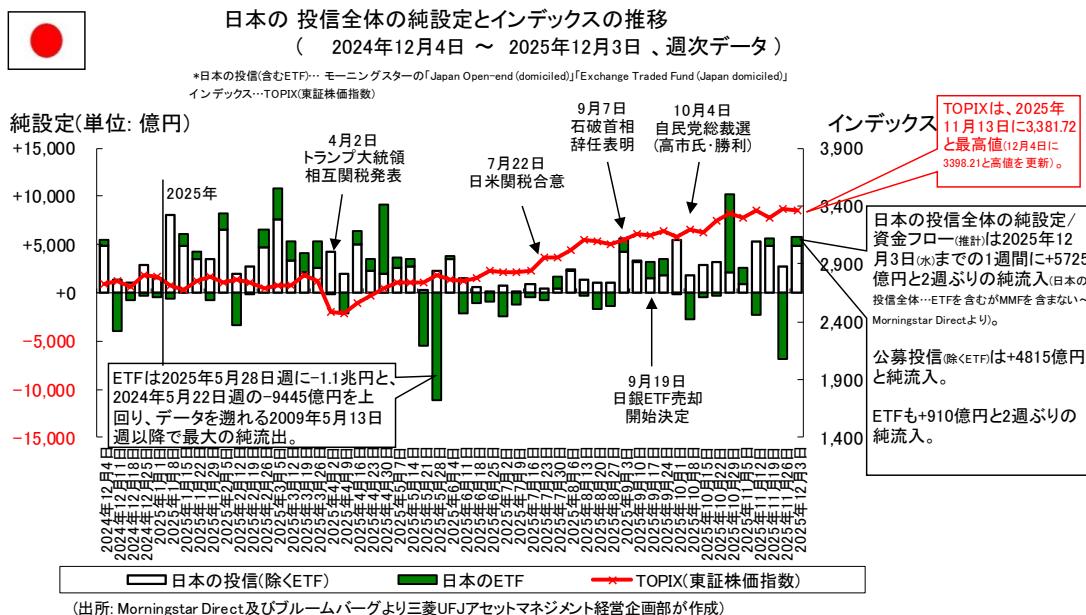
窪田真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)

- 日本ではゴールドが流入となる中、REITが利上げ懸念で流出 p.1
- 米国ではゴールドとビットコインが流入となる中、REITは利下げ期待で流入 p.3

●日本ではゴールドが流入となる中、REITが利上げ懸念で流出

日本籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計を見ると、2025年12月3日(水)までの1週間に+5,725億円と2週ぶりの純流入(日本籍投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。

日本籍公募投信(除くETF)は+4,815億円と純流入、日本籍ETFも+910億円と2週ぶりの純流入。



公募投信(除くETF)の12月3日週の純設定額+4,815億円について分類別に見る。純流入1～3位はグローバル株、米国株、グローバル株-日本を除く。純流出1～3位は日本株中小型バリュー、ヘルスケア株、米国REIT。

純流入4位の商品/コモディティ(ゴールド/金関連)は2025年4月16日以来34週連続純流入(月次で2023年10月～2025年11月に26か月連続純流入)。純流出3位の米国REITは2週連続純流出(直近10週で8週純流出)、純流出4位の日本REITは3週ぶり純流出(直近10週で6週純流出)。

「日銀の植田和男総裁の発言をきっかけに12月の追加利上げ観測が高まり、金利上昇が重荷となるREITを手放す動きが優勢となつた。 東証REIT指数は昨年末から2割超上昇し、11月27日に2,045.08と2022年1月以来約4年ぶりの水準を付けたばかりだった。…(略)…。 REITは物件取得のため有利子負債を多く抱える。」などと報じられている。(強調下線は当レポート筆者、2025年12月1日付日本経済新聞「東証REIT指数、2000割れ 植田総裁発言で金利上昇警戒」～<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ01B0121N0R01C25A20000000/>。)

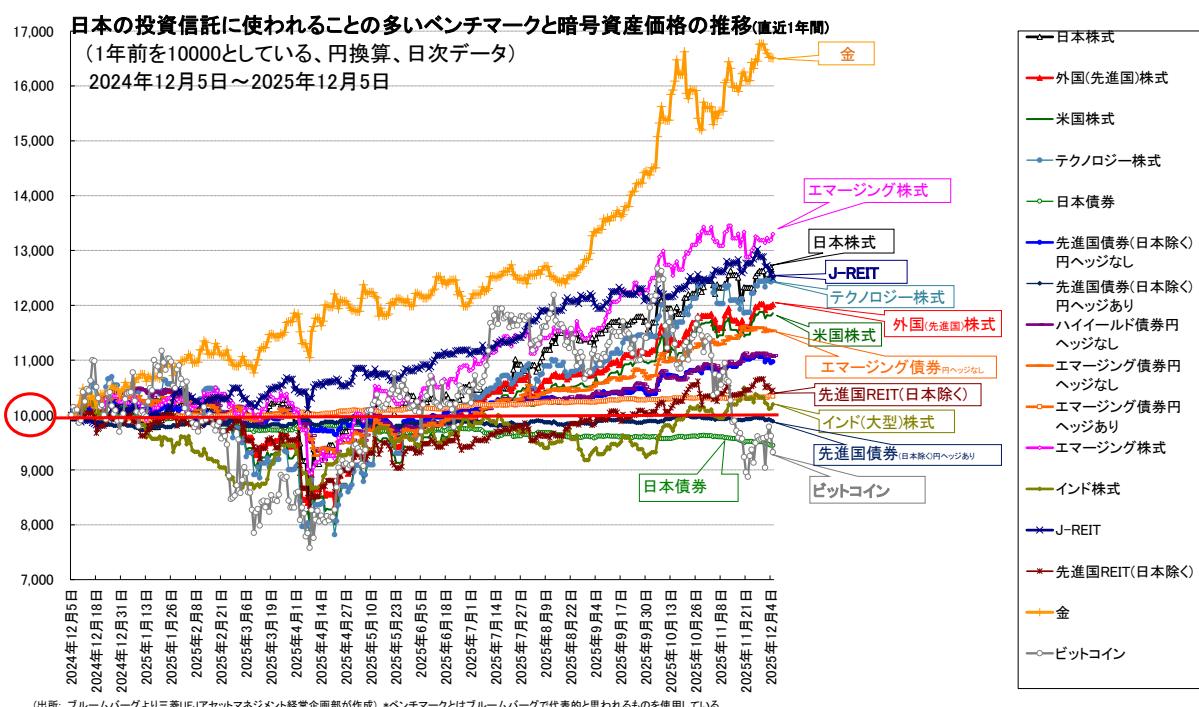
● 日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
上位 10 分類	1 World Equity	+135,705	+91,669	+487,627	26,667,666	グローバル株
	2 US Equity	+92,889	+18,920	+306,305	31,462,567	米国株
	3 World ex-Japan Equity	+72,162	+45,514	+191,079	16,563,280	グローバル株-日本を除く
	4 Commodity	+29,359	+20,450	+105,071	2,818,628	商品
	5 Moderately Aggressive Allocation	+28,071	+16,355	+246,964	5,446,862	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
	6 World Specialty Equity	+19,377	+4,095	+53,425	5,663,064	グローバル・特定テーマ/セクター株
	7 Japan Large-Cap Blend Equity	+18,589	+16,853	+62,629	6,387,613	日本株大型ブレンド
	8 Japan Bond - Long/Intermediate	+14,777	-34	+40,240	4,243,674	日本債-中長期
	9 Aggressive Allocation	+12,927	+11,631	+52,236	1,085,758	アグレッシブ・アセットアロケーション
	10 Sector Equity Technology	+12,829	+2,069	+8,883	9,172,756	テクノロジー株
下位 10 分類	76 Country/Region Specific Bond	-1,483	-1,209	-5,572	488,537	単一国/地域債(インド債、ブラジル債など)
	77 World Equity - JPY Hedged	-1,570	-1,275	-7,362	567,407	グローバル株-円ヘッジ
	78 Australia & New Zealand Bond	-1,593	-1,356	-6,109	524,709	オーストラリア&ニュージーランド債
	79 World ex-Japan Bond - JPY Hedged	-1,666	+534	+1,408	1,028,513	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ
	80 India Equity	-1,761	-7,673	-28,626	2,841,510	インド株
	81 US Equity - JPY Hedged	-1,857	-1,119	-6,811	576,626	米国株-円ヘッジ
	82 Japan REIT	-3,329	+4,333	-1,451	2,382,591	日本REIT
	83 US REIT	-5,107	-2,770	-3,867	2,205,726	米国REIT
	84 Sector Equity Healthcare	-7,681	-5,420	-24,705	910,962	ヘルスケア株
	85 Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-9,728	+3,585	-13,686	1,527,022	日本株中小型バリュー
	全85分類の合計	+481,470	+268,913	+1,764,056	171,041,651	
	指標名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX(東証株価指数)	-0.61	+3.39	+2.05		
	S&P500	+0.57	+2.60	+0.91		
	MSCI ワールド	+0.71	+2.58	+1.19		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指標)。



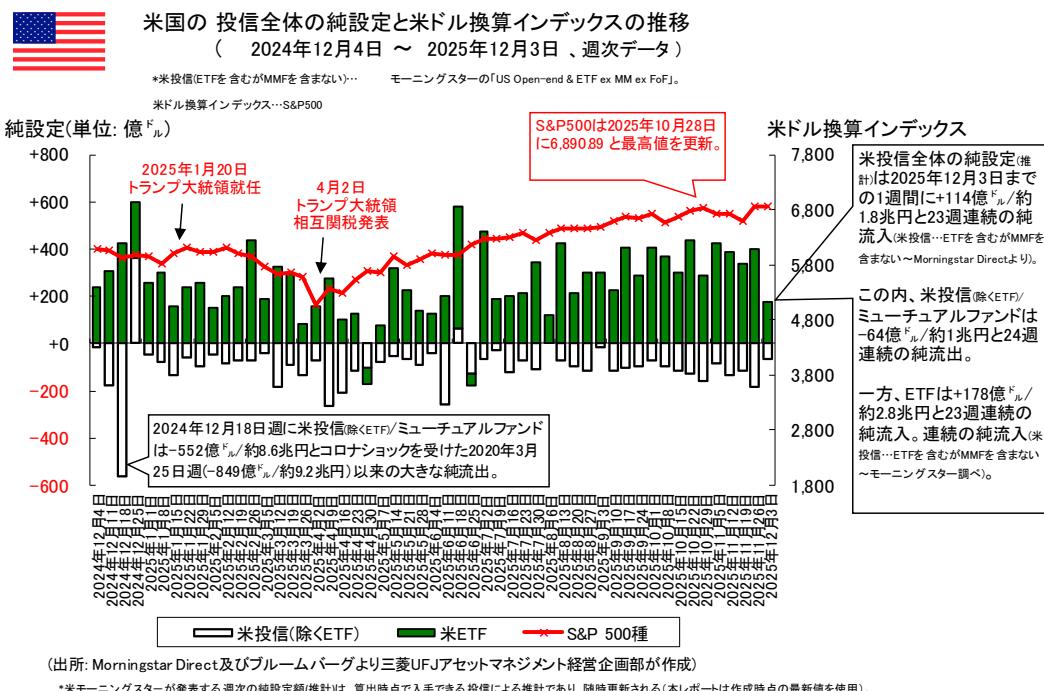
(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成) *ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

●米国ではゴールドとビットコインが流入となる中、REITは利下げ期待で流入

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計を見ると、2025年12月3日までの1週間に+114億ドル/約1.8兆円と23週連続の純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。

米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは2025年12月3日までの1週間に-64億ドル/約1兆円と24週連続の純流出だが、米国籍ETFが2025年12月3日までの1週間に+178億ドル/約2.8兆円と23週連続純流入(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流

入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ https://www.mifg.jp/report/investigate/column_231127.pdf)○



2025年12月3日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。純流入1～3位は、米国ハイイールド債、米国超短期債、米国中長期コアプラス債。純流出1～3位は、米国大型グロース株、米国小型ブレンド株、米国大型バリュー株。

純流入を詳細に見ると、債券が+107億ドルと大きな純流入が継続。セクター株が+26億ドルと2週連続の純流入となっている。コモディティは+10億ドルと2週ぶりの純流入で、このうちゴールド/金関連ファンド(ETF含む)が+3億ドルと3週ぶりの純流入。オルタナティブが+8億ドルと3週ぶりの純流入、デジタル資産(ビットコイン等)は+7億ドル/約1,100億円と小幅ながら3週ぶり純流入となった。

ビットコインは10月のピークから11月下旬にかけて3割程度下落、そこから12月5日時点で約6%上昇した程度。「最大の懸念は、ビットコイン上場投資信託(ETF)への資金流入に乏しく、押し目買いが不在なことだ。」とも言われる(2025年12月2日付ブルームバーグ「ビットコイン売り再燃、一時8.3万ドル台一円キャリー巻き戻しも警戒」～ <https://www.bloomberg.com/jp/news/articles/2025-12-01/T4LSJ1JHJH10>)。ブルームバーグによると、ビットコイン現物で運用する米国のETFは、2025年11月に-35億ドルと、2月(-36億ドル)に並び、過去最大級の純流出だった。

米国のデジタル資産(ビットコインETF等含む)ファンドは、2025年11月19日週に-28億ドル/約4,400億円と2017年1月4日週以来9年弱ぶりの大きな純流出となったが、翌週11月26日週は-3億ドル/約460億円と減速、最新12月3日週は+7億ドル/約1,100億円と小幅ながら純流入へ転じている。

一方、純流出を詳細に見ると、米国株が-60億ドルと8週ぶり純流出。日本株は-6,000万ドルと7週ぶり純流出で10月25日週の+6億ドルという年初来最大から減速傾向(外国株全体は+15億ドル)。日本で純流出3位だった米国REIT(2週連続純流出、直近10週で8週純流出)は米国では4週連続純流入(直近10週で4週純流出)。

日本では追加利上げ観測が高く金利上昇がREITの重荷となっているが、米国では今年に入って9月17日と10月29日に利下げ(-0.25の4.25%、-0.25の4.00%)があり、12月9・10日のFOMC/連邦公開市場委員会での利下げ(-0.25の3.75%)がコンセンサスとなっており、REITの好材料となっている。



米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2025-12-03現在

*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
1	High Yield Bond	+1,968	+409	+531	325,171	米国ハイイールド債
2	Ultrashort Bond	+1,764	+3,911	+11,663	432,761	米国超短期債
3	Intermediate Core-Plus Bond	+1,548	-131	+2,649	652,347	米国中長期コアプラス債
4	Foreign Large Blend	+1,509	+2,516	+9,525	1,391,558	外国大型ブレンド株
10	Large Blend	+1,218	+7,201	+25,376	5,584,260	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
分類 上位	6 Commodities Focused	+1,026	+926	+3,259	295,360	商品・フォーカス
	7 Intermediate Core Bond	+1,018	+785	+2,204	824,016	米国中長期コア債
	8 Multisector Bond	+1,013	+1,357	+4,696	198,554	マルチセクター債
	9 Short-Term Bond	+772	+400	+3,855	393,703	米国短期債
	10 Muni National Interm	+710	+589	+2,317	271,307	米国全米地方債
	11 Digital Assets	+656	-293	-2,354	156,506	デジタル資産(ビットコイン等)
	50 Real Estate	+42	+378	+781	98,352	米国REIT
	108 Japan Stock	-61	+31	+219	41,768	日本株
	115 Global Large-Stock Growth	-218	-562	-1,357	301,559	グローバル大型グロース株
	116 Long Government	-285	+808	+3,109	147,359	米国長期国債(6年超)
分類 下位	117 Intermediate Government	-286	+942	+1,789	158,494	米国中長期国債(4~6年)
	118 Moderate Allocation	-297	-506	-1,597	541,834	モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)
	119 Mid-Cap Value	-504	-614	-2,303	266,950	米国中型バリュー株
	120 Short Government	-668	+485	+818	80,720	米国短期国債
	121 Mid-Cap Growth	-764	-646	-3,601	334,977	米国中型グロース株
	122 Large Value	-870	+192	+4,682	1,864,344	米国大型バリュー株
	123 Small Blend	-1,152	+727	-61	503,694	米国小型ブレンド株
	124 Large Growth	-3,869	-909	-7,411	2,649,249	米国大型グロース株
	全124分類の合計	+11,416	+21,639	+80,347	24,623,636	
	指標名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX(東証株価指数)	-0.61	+3.39	+2.05		
	S&P500	+0.57	+2.60	+0.91		
	MSCI ワールド	+0.71	+2.58	+1.19		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指標について

- TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
- MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会